

PHILIPS

サウンドバー

4000 シリーズ

TAB4000



ユーザーマニュアル

製品を登録し、サポートを受けるには、以下にアクセスしてください。

www.philips.com/support

目次

1	安全性に関する重要な注意事項	3
	安全性	3
	製品のお手入れ	4
	環境への配慮	4
	適合宣言	4
	ヘルプとサポート	5
2	あなたのサウンドバー	5
	パッケージ内容	5
	電源	6
	メインユニット	6
	コネクタ	6
	リモコン	7
	リモコンの準備	8
	取り付け	9
	壁面取り付け	9
3	接続	10
	HDMI ARC への接続	10
	電源に接続する	11
4	サウンドバーの使用	11
	ON と OFF	11
	ソースの選択	12
	イコライザー (EQ) エフェクトを選択	12
	音量の調整	12
	工場出荷時の状態にリセットする	13
	Bluetooth の操作	13
	USB 操作	14
	HDMI ARC の操作	14
5	製品仕様	15
6	トラブルシューティング	16
7	商標	18

1 安全性に関する重要な注意事項

製品を使用する前に、すべての指示を読んで把握しておいてください。損傷が発生しても、指示に従わなかったことが原因の場合、保証は適用されません。

安全性



この記号は DC 電圧を示します。



ユーザーマニュアルの指示に従ってください！

感電や火災の危険があります。

- 接続を確立または変更する前に、すべての機器を電源コンセントから外しておいてください。
- 本製品および付属品を雨や水にさらさないでください。液体が入った容器（花瓶など）を本製品の近くに置かないでください。液体が本製品の上にこぼれたり内部に入ったりした場合は、直ちに電源コンセントを抜いてください。本製品の使用前に点検を受けるには、お客様情報センターにお問い合わせください。
- 本製品および付属品は、裸火などの熱源（直射日光を含む）の近くに置かないでください。
- 本製品の換気口などの開口部に物を挿入しないでください。
- 主電源プラグまたは電源接続器を切断装置として使用する場合は、切断装置をすぐに操作できる状態にしておいてください。
- 電池（取り付けた電池パックまたは電池）は、直射日光や炎などの高温になる熱にさらさないでください。

- 雷が発生しそうな場合は、その前に、本製品の電源コードをコンセントから抜いてください。
- 電源コードを抜くときには、必ずプラグを掴んで引いてください。ケーブルは絶対に引っ張らないでください。
- 本製品は熱帯または温帯の地域で使用してください。

ショートや火災の危険

- 識別番号および電源供給定格については、製品の背面または底面にある型式プレートを参照してください。
- 本製品を電源コンセントに接続する前に、電源電圧が製品の背面または底面に印刷されている値と一致しているようにしてください。電圧が異なる場合は、本製品を電源コンセントに接続しないでください。

怪我や本製品損傷の危険

- 本製品を壁面に取り付ける場合は、設置についての指示に従って壁にしっかりと固定してください。付属の壁面取り付けブラケットのみを使用してください（ある場合）。壁面取り付けが不適切だと、事故、負傷、または損傷が発生することがあります。ご不明な点は、お住まいの国のお客様情報センターまでお問い合わせください。
- 本製品や物を電源コードの上、または他の電気機器の上に置かないでください。
- 本製品が 5°C 未満の気温で輸送されてきた場合は、製品を開梱して製品が室温と同じ温度になるのを待ってから電源コンセントに接続してください。
- 本製品にはガラス製の部品が使用されている場合があります。負傷や損傷を防ぐため、十分注意して取り扱ってください。

オーバーヒートの危険

- 本製品は絶対に閉鎖空間内に設置しないでください。製品の周囲には 10 cm（4 インチ）以上の隙間を空けておき、換気ができるようにしてください。カーテンなどの物によって本製品の換気スロットが覆われることがないようにしてください。

電池の使用に関する注意

- 注意：正しくない電池交換をした場合には、爆発の危険があります。同じまたは同等のタイプの電池と交換してください。
- 電池が消耗している場合、またはリモコンを長時間使用しない場合は、電池を取り外してください。
- 電池には化学物質が含まれています。リサイクルまたは廃棄については、国や地域のガイドラインに従ってください。
- 装置に記されている「+」および「-」のマークに従って、すべての電池を正しく取り付けてください。
- 古い電池と新しい電池を混ぜて使用しないでください。
- アルカリ電池、標準電池（カーボン亜鉛電池）、または充電式電池（Ni-Cd、Ni-MH など）を混ぜて使用しないでください。
- 電池（電池または電池パック）は、直射日光や炎などの高温になる熱にさらさないでください。
- 電池を廃棄するときには、燃やしたり焼却炉で処理したり、機械的に潰したり切断したりしないでください。
- 電池を極端に低い気圧下で管理しないようにしてください。

注

- 定格ラベルは、機器の底面または背面に貼り付けられています。

製品のお手入れ

本製品のクリーニングにはマイクロファイバークロスのみを使用してください。

環境への配慮

古くなった製品や電池の廃棄



本製品は、リサイクルと再利用が可能な高品質の素材とコンポーネントを使用して設計および製造されています。



製品のこの記号は、製品が欧州指令 2012/19/EU の対象となっていることを意味します。



この記号は、本製品に欧州指令 2013/56/EU の対象となる電池が含まれており、通常の家ごみと一緒に廃棄できないことを意味します。

電気／電子製品および電池の廃棄については、地域の分別収集システムを把握しておいてください。地域の規則に従い、本製品や電池を通常の家ごみと一緒に廃棄しないでください。古い製品や電池の廃棄が適切であれば、環境や人の健康に悪影響を及ぼすことがなくなります。

使い捨て電池の取り外し

使い捨て電池を取り外すには、電池の取り付けに関するセクションを参照してください。

適合宣言

本製品は、欧州共同体（EC）の無線干渉要件に準拠しています。

これにより、TP Vision Europe B.V. は、製品が RED 指令 2014/53 / EU および英国無線機器規則 SI 2017 No 1206 の必須要件およびその他の関連規定に準拠していることを宣言します。適合宣言は www.philips.com/support にあります。

ヘルプとサポート

広範なオンラインサポートについては、www.philips.com/support にアクセスしてください。

- ユーザーマニュアルとクイックスタートガイドをダウンロードする
- ビデオチュートリアルを視聴する（一部のモデルのみについて提供）
- よくある質問（FAQ）から回答を探す
- 質問をメールで送信する
- サポート担当者とチャットする

Web サイトの指示に従って言語を選択し、製品のモデル番号を入力します。

お住まいの国のお客様情報センターにお問い合わせいただくこともできます。お問い合わせいただく前に、製品のモデル番号とシリアル番号を書き留めておいてください。この情報は製品の背面または底面にあります。

2 あなたのサウンドバー

フィリップス製品をご購入いただきありがとうございます。Philips が提供するサポートを最大限に活用するには、www.philips.com/support でサウンドバーを登録してください。

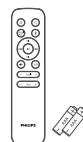
パッケージ内容

次の品目がパッケージに入っていることを確認してください。

- | | |
|----------------|-----|
| • サウンドバー | x 1 |
| • リモコン | x 1 |
| • 壁面取り付けキット | x 1 |
| • 壁面取り付けテンプレート | x 1 |
| • アダプタ | x 1 |
| • クイックスタートガイド | x 1 |
| • 保証書 | x 1 |
| • 安全シート | x 1 |



サウンドバー



リモコン
(単 4 電池 x2)



壁取り付けネジ x2
壁用アンカー x2



壁面取り付けテンプレート



AC アダプター*
(サウンドバー用)



クイックスタートガイド
保証書・安全シート

- 本ユーザーマニュアルに記載されている画像および図は、あくまで参考であり、実際の製品の外観は異なる場合があります。

電源

アダプタとプラグのタイプは地域によって異なります。

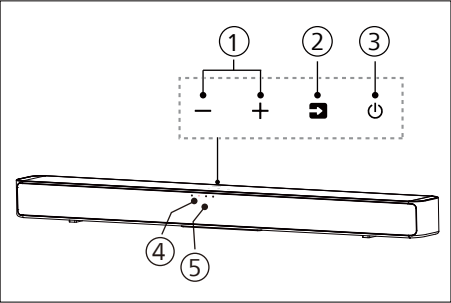
- アダプターモデル :PG241-1501600U
PG241-1501600I
- 製造者 : Shenzhen Perect Gallant
Tec Co., Ltd.

注

- 該当する電源については、ユーザーマニュアルを参照してください。

メインユニット

このセクションでは、メインユニットの概要について説明します。



- ① +/- (音量)
音量の上げ下げを行います。
- ② ➡ (ソース)
サウンドバーの入力ソースを選択します。デフォルトのソースは HDMI ARC です。
- ③ ㊤ (スタンバイ - オン)
 - サウンドバーの電源をオンにするか、スタンバイ状態にします。
 - 電源オン状態で 8 秒間長押しすると、自動スタンバイ (15 分経過後に自動的にスタンバイ状態になる) が有効または無効になります。

ステータス	LED の状態
自動電源オフを有効にする	スタンバイ LED が高速点滅
自動電源オフの無効化	スタンバイ LED がゆっくり点滅

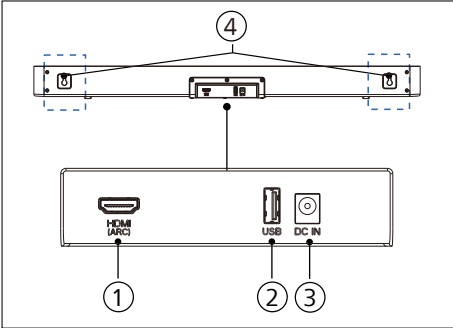
- ④ サウンドバーの LED インジケーター
再生ソースを切り替えると、それに応じてフロントインジケーターが点灯します。メインユニット前面のインジケーターライトに、現在使用中のモードが表示されます。

ステータス	LED の状態
USB	[USB] 点灯 (ホワイト)
Standby	[スタンバイ] 点灯 (レッド)
BT (Bluetooth) - 接続済み - 切断済み	[BT] 点灯 (ホワイト) [BT] 点滅 (ホワイト)
HDMI ARC - サポート対象 - サポート対象外	[HDMI ARC] 点灯 (ホワイト) [HDMI ARC] 点滅 (ホワイト)

- ⑤ リモコンセンサー

コネクター

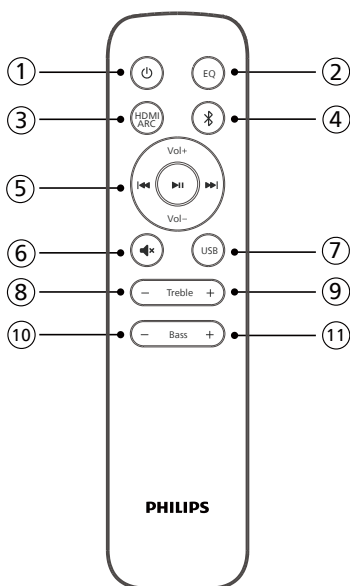
このセクションでは、サウンドバーで使えるコネクターの概要について説明します。



- ① **HDMI out (HDMI 出力) (ARC)**
テレビの HDMI (ARC) 入力に接続します。
- ② **USB**
 - USB ストレージデバイスを接続してオーディオメディアを再生します。
 - この製品のソフトウェアをアップグレードするためにも使用します。
- ③ **DC in (DC 入力)**
アダプターに接続します。
- ④ **壁掛けブラケットスロット。**

リモコン

このセクションでは、リモコンの概要について説明します。



- ① **⏻ (スタンバイ - オン) ボタン**
 - サウンドバーをオンまたはスタンバイに切り替えます。
- ② **EQ (モード)**
4 つの EQ モードから選択します：
映画／音楽／音声／スタジアム。

- ③ **HDMI ARC**
ソースを HDMI ARC 接続に切り替えます。
- ④ **✶**
短く押すと Bluetooth ソースに切り替わります。最後にペアリングした機器が利用可能な場合、サウンドバーはその機器に再接続されます。3 秒間長押しすると、すべての Bluetooth 機器から切断され、ペアリングモードになります。
- ⑤ **⏮ / ⏭ (前 / 次)**
USB / BT モードで前または次のトラックにスキップします。
⏮ (再生 / 一時停止)
USB / BT モードで再生を開始、一時停止、または再開します。
VOL+ / VOL- (システム音量)
システム音量レベルを増減します。
- ⑥ **🔇**
ミュートまたは音量を復元します。
- ⑦ **USB**
オーディオソースを USB 接続に切り替えます。
- ⑧ **- Treble (- 高音)**
サウンドバーの高音の音量を下げます。
- ⑨ **+ Treble (+ 高音)**
サウンドバーの高音の音量を上げます。
- ⑩ **-Bass (- 低音)**
サウンドバーの低音の音量を下げます。
- ⑪ **[+Bass] (+ 低音)**
サウンドバーの低音の音量を上げます。

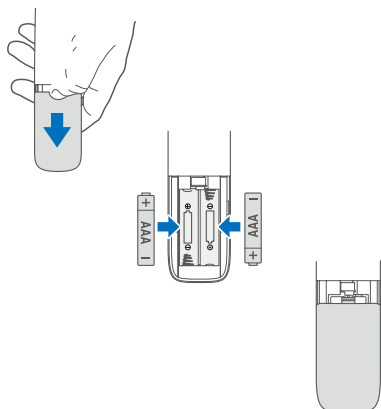
リモコンの準備

- 付属のリモコンにより、離れた場所からユニットを操作できます。
- 有効範囲の 6 m (19.7 フィート) 以内にリモコンを操作していても、ユニットとリモコンの間に障害物がある場合には、リモコンの操作ができなくなることがあります。
- 赤外線が発生する他の製品の近くでリモコンを操作したり、本機の近くで赤外線を使用する他のリモコンデバイスを使用すると、誤動作する可能性があります。逆に、他の製品側が正しく動作しないことがあります。

リモコンの電池を交換してください

電池収納部のカバーをスライドさせて取り外し、正しい極性で単 4 形電池 (1.5V) 2 本を挿入してから、電池収納部のカバーを元の位置までスライドさせます。

- 電池の「+」側と「-」側が、電池収納部に表示されている「+」側と「-」側に一致していることを確認します。

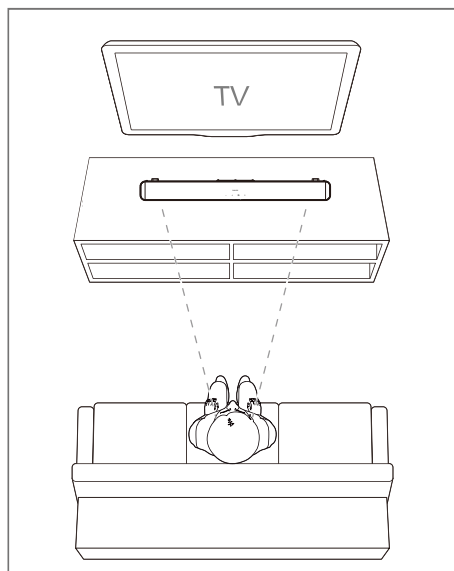


電池に関するご注意

- 電池は、正の「⊕」と負の「⊖」の極性が正しい状態で挿入してください。
- 同じタイプの電池を使用してください。タイプの異なる電池と一緒に使用しないでください。
- 充電式電池パックと非充電式電池パックのどちらも使用できます。ラベルの注意事項を参照してください。
- 電池カバーと電池を取り外すときには、爪を痛めないように注意してください。
- リモコンを落とさないでください。
- リモコンに何らかの衝撃が加わらないようにしてください。
- リモコンの上に水や液体をこぼさないでください。
- リモコンを濡れている物の上に置かないでください。
- リモコンは直射日光の当たる場所や、高温になる熱源の近くに置かないでください。
- リモコンを長期間使用しない場合は、腐食や電池の液漏れが発生し、怪我、物的損傷、火災などの原因となる可能性があるため、本体から電池を取り出しておいてください。
- 指定の電池以外は使用しないでください
- 新しい電池を古い電池と一緒に使用しないでください。
- 充電式であることが確認できない電池は、絶対に充電しないでください。

取り付け

下の図のようにサウンドバーを配置します。

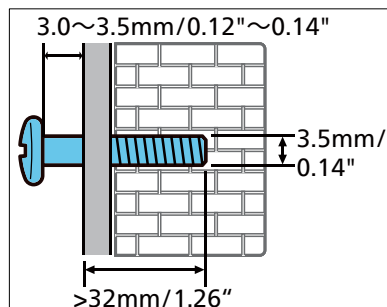


壁面取り付け

注

- 壁面取り付けが不適切だと、事故、負傷、または損傷が発生することがあります。ご不明な点は、お住まいの国のお客様情報センターまでお問い合わせください。
- 壁面に取り付ける前に、壁がサウンドバーの重量を支えられることを確認してください。
- 壁面に取り付ける前に、サウンドバーの底部にあるゴム製の脚を取り外す必要はありません。ゴム製の脚は取り外すと元に戻すことができません。
- 壁面取り付けのタイプに応じて、適切な長さと直径のネジを使用してください。
- サウンドバーの背面にある USB ポートが USB デバイスに接続されているかどうかを確認してください。接続された USB デバイスが壁面取り付けに影響を与える場合は、適切なサイズの別の USB デバイスを使用する必要があります。

ネジの長さ／直径

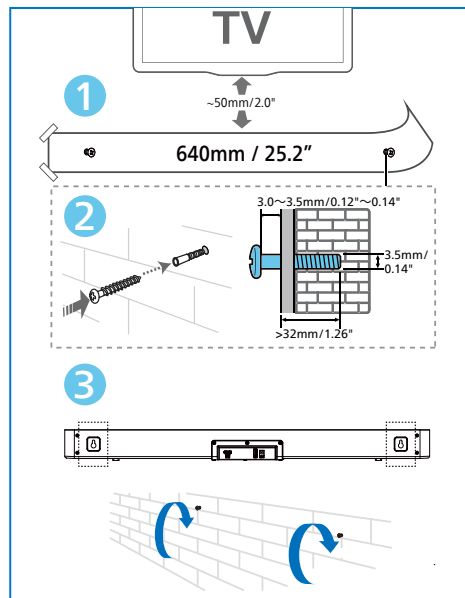


推奨の壁面取り付け高さ

サウンドバーを壁面に取り付ける前に、まずテレビを取り付けることをお勧めします。テレビが事前に設置された状態で、テレビの底面から 50 mm (2.0 インチ) 離れた壁面にサウンドバーを取り付けます。

警告

- けがを防止するため、本装置は設置説明書に従って床／壁面にしっかりと固定する必要があります。
- 推奨の壁面取り付け高さ：1.5 m 以下。



- 1 壁に 2 つの平行な穴（直径がそれぞれ 3～8mm）をドリルで開けます。
↳ 穴間の距離は次のとおりです。
640mm。
↳ 壁に穴を開ける位置を決める際の目安として、サイズを参照できます。
- 2 ダボとネジを穴に固定します。
↳ 壁とネジの頭の間には必ず **3.0～3.5mm** の隙間を空けてください。
- 3 サウンドバーを取り付けネジに掛けます。

3 接続

このセクションでは、サウンドバーをテレビやその他の機器に接続してセットアップする方法について説明します。

サウンドバーとアクセサリの基本的な接続については、クイックスタートガイドを参照してください。

注

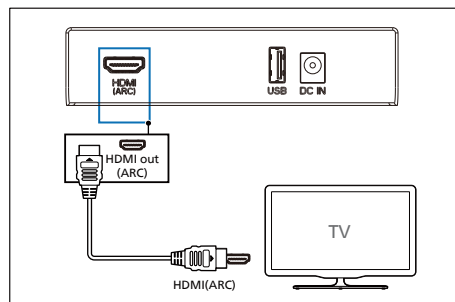
- 識別番号および電源供給定格については、製品の背面または底面にある型式プレートを参照してください。
- 接続を確立または変更する前に、すべての機器を電源コンセントから外しておいてください。

HDMI ARC への接続

サウンドバーは、オーディオリターンチャンネル（ARC）装備の HDMI に対応しています。テレビが HDMI ARC 対応であれば、HDMI ケーブルだけでサウンドバーからテレビ音声を再生できます。

- 1 テレビで HDMI-CEC 操作をオンにします。詳細については、テレビの取扱説明書を参照してください

テレビの **HDMI ARC** コネクターのラベルが異なる場合があります。詳細については、テレビの取扱説明書を参照してください。



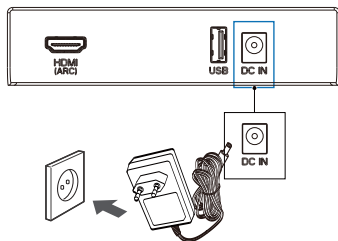
- 2 高速 HDMI ケーブルを使用して、サウンドバーの **HDMI ARC** コネクタをテレビの **HDMI ARC** コネクタに接続します。

注

- テレビが HDMI-CEC および ARC 機能に対応している必要があります。HDMI-CEC および ARC をオンに設定する必要があります。
- HDMI-CEC と ARC の設定方法は、テレビによって異なる場合があります。ARC 機能の詳細については、テレビの取扱説明書を参照してください。
- ARC 機能に対応した HDMI ケーブルを必ずご使用ください。

電源に接続する

- AC 電源コードを接続する前に、他のすべての接続を完了しておいてください。
 - 製品損傷の危険があります。電源電圧が、ユニットの背面または底面に印刷されている電圧と一致していることを確認します。
- 1 主電源ケーブルをユニットの DC~ ソケットに接続し、次に主電源ソケットに接続します。



* アダプターとプラグの種類は地域によって異なります。

4 サウンドバーの使用

このセクションでは、サウンドバーを使用して、接続された機器からオーディオを再生する方法について説明します。

作業を開始する前に

- クイックスタートガイドおよび取扱説明書に記載されている必要な接続を行います。
- サウンドバーを他の機器に合わせて正しいソースに切り替えます。

ON と OFF

- まずユニットを主電源ソケットに接続すると、ユニットはスタンバイモードになります。[スタンバイ] インジケーターが点灯します。
- リモコンまたはメインユニットの  ボタンを押して、メインユニットの ON と OFF を切り替えます。
- ユニットを完全にオフにする場合は、主電源ソケットから主電源プラグを外します。

オートスタンバイ

テレビまたは外部サウンドバーの接続が失われた場合、または電源がオフになった場合、約 15 分後にユニットは自動的にスタンバイモードになります。

- ユニットを完全にオフするには、主電源ソケットから主電源プラグを取り外します。
- 使用していないときは、省エネのためユニットの電源を完全に切ってください。

ソースの選択

- 1 ユニットの  ボタンを繰り返し押すか、リモコンの **USB**、**HDMI ARC**、**Pair/BT** (ペア / BT) ボタンを押して、目的のモードを選択してください。

サウンドバーのインジケータライトに、現在使用中のモードが表示されます。

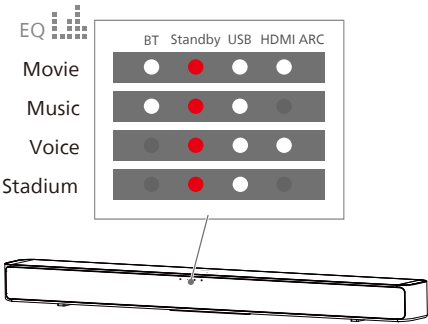
ステータス	LED の状態
USB	[USB] 点灯 (ホワイト)
Standby	[スタンバイ] 点灯 (レッド)
Pair/BT - 接続済み - 切断済み	[BT] 点灯 (ホワイト) [BT] 点滅 (ホワイト)
HDMI ARC - サポート対象 - サポート対象外	[HDMI ARC] 点灯 (ホワイト) [HDMI ARC] 点滅 (ホワイト)

イコライザー (EQ) エフェクトを選択

ビデオや音楽に合わせて、あらかじめ定義されたサウンドモードを選択します。

- 1 リモコンの **[EQ]** ボタンを押して、希望のプリセットされたイコライザー効果を選択します。デフォルトのモードはムービーです
- **Movie** (ムービー) (LED が 4 つ点灯)：サラウンドリスニング体験をもたらします。映画鑑賞に最適です。
 - **Music** (音楽) (LED が 3 つ点灯)：2 チャンネルまたはマルチチャンネルのステレオサウンドをもたらします。音楽鑑賞に最適です。
 - **Voice** (音声) (LED が 3 つ点灯)：人の声をより明瞭にし聞きやすくするためのサウンド効果をもたらします。

- **Stadium** (スタジアム) (LED が 2 つ点灯)：スタジアムでスポーツ観戦をしているような雰囲気をもたらします。

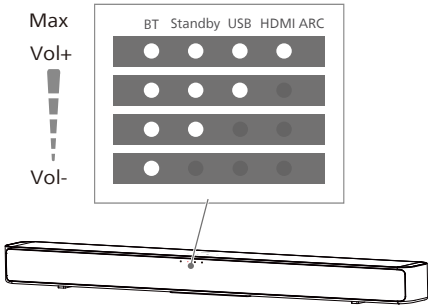


音量の調整

サウンドバーの音量を調整すると、ステータスインジケータの明るさが増減します。対応するライトの表示／点滅に従って、サウンドバーの現在の音量レベルを判断します。

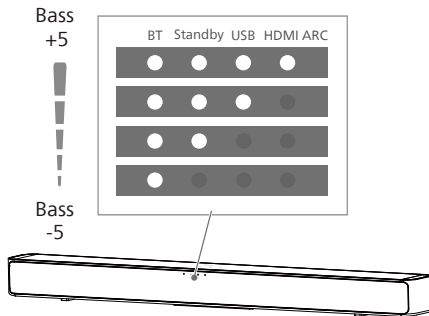
音量の調整

- 1 サウンドバーの **[+/-]** を押すか、リモコンの **[Vol +/-]** を押して音量レベルを増減します。

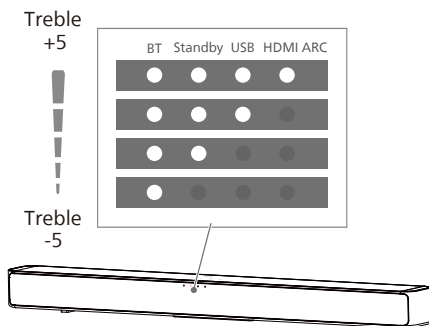


高音と低音の音量を調整します

- 2 **[-Bass +]** (- 低音 +) を押します
リモコンの **[-Bass +]** (- 低音 +) を押して、低音の音量を増減します。



- 3 [-Treble +] (- 高音 +) を押します
リモコンの [-Treble +] (- 高音 +) を
押して、高音の音量を増減します。



デフォルトでは、低音／高音は 0 に設定されています。

工場出荷時の状態にリセットする

デバイスをデフォルト設定にリセットします。

- 1 サウンドバーの電源をオンにします。
- 2 ローカルキーの + と - を 8 秒間押し続けます。すべての LED が 5 秒間点灯した後、[スタンバイ] LED が赤く点灯します。
- 3 再起動後、サウンドバーは ARC ステータスになります。

Bluetooth の操作

Bluetooth を利用して、サウンドバーを Bluetooth 機器 (iPad、iPhone、iPod touch、Android フォン、ラップトップなど) に接続し、機器に保存されているオーディオファイルをサウンドバーから聴くことができます。

要件

- Bluetooth プロファイル A2DP、AVRCP をサポートし、Bluetooth バージョン 5.0 + EDR を搭載した Bluetooth 機器。
- サウンドバーと Bluetooth 機器の最大動作範囲は約 10 m (30 フィート) です。

- 1 ユニットの  ボタンを押すか、リモコンの **Pair/BT** (ペア / BT) ボタンを押して、サウンドバーを Bluetooth モードに切り替えます。
→ [BT] インジケーターが点滅します。

- 2 Bluetooth 機器で Bluetooth をオンにし、**Philips TAB4000** を検索して選択し、接続を開始します (Bluetooth を有効にする方法については、Bluetooth 機器の取扱説明書を参照してください)。

→ 接続中は [BT] インジケーターが点滅します。

- 3 サウンドバーから音声プロンプトが聞こえるまで待ちます。

→ 正常に接続されると、[BT] インジケーターが点灯します。

- 4 Bluetooth 機器でオーディオファイルまたは音楽を選択して再生します。
 - 再生中に電話がかかってくると、音楽の再生が一時停止します。通話が終了すると再生が再開します。
 - Bluetooth 機器が AVRCP プロファイルに対応している場合は、リモコンで **⏮** [/] **⏭** を押してトラックにスキップしたり、**⏸** を押して再生を一時停止／再開したりできます。

- 5 Bluetooth 接続を切断して新しい Bluetooth デバイスをペアリングするには：
- リモコンの Pair/BT（ペア /BT）ボタンを長押しして、Bluetooth 接続を切断し、ペアリングモードにします。

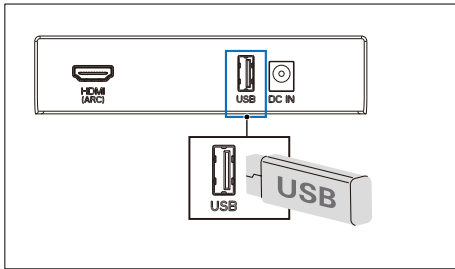
注

- 障害物のないオープンな場所では、サウンドバーと Bluetooth 機器の最大動作範囲は約 10 m（30 フィート）です。
- すべての Bluetooth 機器との互換性が保証されているわけではありません。
- 機器とサウンドバーの間に障害物があると、音楽のストリーミングが中断される場合があります。たとえば、壁、機器を覆う金属製のケース、または同じ周波数で動作する近くにある他の機器などです。
- Bluetooth モードでは、オーディオが再生されていない場合、ユニットは約 15 分後に自動的にスタンバイモードになります。
- ワイヤレスネットワークポートを無効にする方法：他のモードに切り替えるためにソースボタンを押します。

USB 操作

MP3 プレーヤーや USB フラッシュメモリなどの USB ストレージデバイスでオーディオを楽しむことができます。

- 1 USB デバイスを挿入します。



- 2 ユニットの **USB** ボタンを繰り返し押すか、リモコンの **USB** ボタンを押して、**USB** モードを選択します。
- [USB] LED インジケータが白く点灯。

- 3 再生時には次の操作ができます。

ボタン	操作
▶▶	再生の開始、一時停止、または再開
◀◀	前のトラックにスキップ
▶▶	次のトラックにスキップ

ヒント

- 本製品は、特定のタイプの USB ストレージデバイスと互換性がない場合があります。
- USB 延長ケーブル、USB ハブ、USB 多機能カードリーダーを使用している場合、USB ストレージデバイスが認識されない場合があります。
- ファイルの読み取り中は USB ストレージデバイスを取り外さないでください。
- この製品は、最大 128GB のメモリを搭載した USB デバイスをサポートできます。
- この製品は MP3、WAV、FLAC を再生できます。
- USB ポートのサポート：5V ≒ 500mA。
- USB モードでは、オーディオが再生されていない場合、ユニットは約 15 分後に自動的にスタンバイモードになります。

HDMI ARC の操作

ユニットがテレビまたはオーディオ機器に接続されていることを確認します。

- 1 ユニットの **HDMI ARC** ボタンを繰り返し押すか、**HDMI ARC** ボタンを押して、目的のモードを選択します。
- サウンドバーのインジケータライトに、現在使用中のモードが表示されます。

ステータス	LED の状態
HDMI ARC	[HDMI ARC] 点灯 (ホワイト) または点滅

- 2 オーディオ機器を直接操作して再生機能を有効にします。
- 3 +/-（音量）ボタンを押して、音量を希望のレベルに調整します。

≡ ヒント

- HDMI ARC モードでは、ユニットからの音声出力がなく、ステータスインジケータが点滅しているときには、ソース機器（テレビ、DVD、Blu-ray プレーヤーなど）で PCM 信号出力を有効にすることが必要になる場合があります。
- ネットワークスタンバイモードの消費電力 <2.0 W
- HDMI (ARC) モードでは、オーディオ再生がなのまま約 15 分経過すると、ネットワークスタンバイモードになります。

5 製品仕様

≡ 注

- 仕様および設計は予告なく変更されることがあります。

Bluetooth

Bluetooth プロファイル	A2DP、AVRCP
Bluetooth バージョン	V 5.4
Bluetooth 周波数帯域	2402 ~ 2480MHz
送信機電力	≤ 4dBm

アンプ部

出力電力	15 W × 2 @THD+N ≤ 10%;
------	---------------------------

サウンドバー

アダプタ	入力：	100 ~ 240V、 50/60 Hz、0.8A
	出力：	15.0V ≐ 1.6A、 24W ⚡⚡⚡
消費電力		15 W
スタンバイ時の消費電力		< 0.5 W
ネットワーク接続時の消費電力		< 2.0 W
USB		5V ≐ 500mA
周波数応答		50Hz ~ 18KHz
インピーダンス		4 Ω
サイズ (幅 x 高さ x 奥行き)		760 x 64 x 87 mm
重量		1.45kg
動作温度		0° C ~ 40° C

リモコン

距離／角度	6m/30°
電池タイプ	単 4 形 (1.5V x 2)

サポートされているオーディオ形式

HDMI ARC

- PCM 2ch

Bluetooth

- SBC

USB

- MP3、WAV、FLAC

6 トラブルシューティング



警告

- 感電の危険がありますので、本製品のケーシングは絶対に取り外さないでください。

保証の効力を失わないためにも、本製品は絶対に自力で修理しようとししないでください。本製品を使用していて、故障かな、と思った場合でも、次のような点を確認した上で修理を依頼してください。それでも問題が解決しない場合は、www.philips.com/supportでサポートを受けてください。

メインユニット

メインユニットのボタンが機能しない。

- 電源から数分間電源ケーブルを取り外し、それからもう一度接続します。

電源が入らない

- AC コードが正しく接続されているようにします。
- コンセントは電力が確実に来ているものを選びます。
- リモコンまたはサウンドバーの  ボタンを押して、サウンドバーをオンにします。

サウンド

サウンドバースピーカーから音が出ない。

- サウンドバーのオーディオケーブルをテレビやその他の機器に接続します。ただし、次の場合は、別のオーディオ接続は必要ありません。
 - サウンドバーとテレビが HDMI ARC 接続によって接続されている。
 - 機器がサウンドバーの HDMI 入力コネクタに接続されている。
- リモコンで、正しいオーディオ入力を選択します。

- サウンドバーがミュートになっていないことを確認します。
- この製品を工場出荷時の設定にリセットします（「工場出荷時の状態にリセット」を参照）。

サウンドがひずむ、あるいはエコーがかかる。

- オーディオをテレビから本製品で再生する場合は、テレビをミュートにしておきます。

Bluetooth

機器をサウンドバーに接続できない。

- 機器がサウンドバーに必要な互換性のあるプロファイルに対応していません。
- 機器の Bluetooth 機能が有効になっていません。機能を有効にする方法については、機器の取扱説明書を参照してください。
- デバイスが正しく接続されていません。デバイスを正しく接続してください。
- サウンドバーはすでに別の Bluetooth 機器に接続されています。接続されているデバイスを切断してから、再試行してください。

接続された Bluetooth 機器からのオーディオ再生の品質が良くない。

- Bluetooth の受信状態が良くありません。機器をサウンドバーの近くに移動させるか、機器とサウンドバーの間に障害物があればそれを取り除きます。

Bluetooth 機器でこのユニットの Bluetooth 名が見つからない。

- Bluetooth 機器で Bluetooth 機能が有効になっていることを確認します。
- ユニットと Bluetooth 機器を再度ペアリングします。

リモコンが機能しない。

- 再生コントロールボタンを押す前に、まず正しいソースを選択してください。
- リモコンとユニットの距離をさらに近づけます。
- 図に示すように、電池を正しい極性 (+ / -) にして挿入します。
- 電池を交換します。
- リモコンをユニット前面のセンサーにまっすぐ向けて操作します。

サウンドバーがオフになります。

- ユニットの外部入力信号レベルが低すぎる場合、ユニットの電源が 15 分後に自動的に切れます。外部機器の音量レベルを上げてください。

7 商標



HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface、HDMI Trade dress という用語、および HDMI ロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。



Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、MMD Hong Kong Holding Limited によるこれらの商標の使用はライセンスを受けています。その他の商標および商標名は、それぞれの所有者のものであります。



仕様は予告なく変更されることがあります。最新のアップデートとドキュメントについては、www.Philips.com/support をご覧ください。Philips および Philips Shield のエンブレムは Koninklijke Philips N.V. の登録商標であり、ライセンスを受けて使用されています。

本製品は MMD Hong Kong Holding Limited またはその関連会社の責任において製造され、販売されています。MMD Hong Kong Holding Limited は、本製品に関する保証者です。

TAB4000/10_UM_V1.0

